

# 平成26年5月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)

平成26年1月7日

上場会社名 カネコ種苗株式会社

上場取引所 東

コード番号 1376 URL http://www.kanekoseeds.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 問合せ先責任者(役職名)専務取締役財務部長

(氏名) 金子 昌彦 (氏名) 長谷 浩克 四半期報告書提出予定日 配当支払開始予定日 平成26年1月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無

TEL 027-251-1619

平成26年2月17日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績(平成25年6月1日~平成25年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上る	言	営業和	刂益	経常和	刂益	四半期紅	帕利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	23,692	1.8	417	109.7	470	101.1	284	104.8
25年5月期第2四半期	23,280	5.1	199	△34.3	233	△28.3	138	△18.7

(注)包括利益 26年5月期第2四半期 366百万円 (85.9%) 25年5月期第2四半期 197百万円 (26.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	24.20	_
25年5月期第2四半期	11.82	_

#### (2) 連結財政状能

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年5月期第2四半期	31,102	13,373	43.0	1,138.52
25年5月期	38,483	13,149	34.2	1,119.28

26年5月期第2四半期 13,373百万円 25年5月期 13,149百万円 (参考) 自己資本

## 2. 配当の状況

2. DD - V///								
	年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円銭	円 銭	円 銭			
25年5月期	_	9.00	_	12.00	21.00			
26年5月期	_	10.00						
26年5月期(予想)			_	12.00	22.00			

## (注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成26年1月7日)公表いたしました「剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

## 3. 平成26年 5月期の連結業績予想(平成25年 6月 1日~平成26年 5月31日)

								(%表	示は、対前期増減率)
	売上	高	営業和	引益	経常和	引益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	54,500	0.9	1,650	19.2	1,750	18.1	1,050	18.4	89.39

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無 、除外 —社 (社名) 新規 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ② ①以外の会計方針の変更 ③ 会計上の見積りの変更 : 無 ④ 修正再表示 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年5月期2Q	11,772,626 株	25年5月期	11,772,626 株
26年5月期2Q	26,642 株	25年5月期	24,414 株
26年5月期2Q	11,747,375 株	25年5月期2Q	11,748,519 株

## ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく 四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する発展などで変なができない。 る説明」をご覧ください。

# ○添付資料の目次

1.当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1)四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1)経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国経済の成長鈍化や米国の財政政策の混乱など、海外のマイナス要因の影響を受けたものの、100円台が定着した感のある為替相場、震災復興需要や政府の経済対策などの効果もあり、大企業を中心に企業業績の改善が進み、景気にやや明るさが見えつつあります。

また、国内農業の状況は、環太平洋経済連携協定(TPP)交渉の妥結が近づき、政府は農業の競争力強化を目指して減反廃止の方針を決定するなど、大きな変革の時期を迎えております。

こうしたなか当社グループの業績は、東日本大震災で壊滅的な被害を受けた宮城県のイチゴ産地の復興に、当社の養液栽培プラントが採用されたことや、野菜種子の売上が増加したことなどから、売上高236億92百万円で前年同四半期比4億11百万円(1.8%)の増収となり、利益面でも営業利益4億17百万円で前年同四半期比2億18百万円(109.7%)増、経常利益4億70百万円で前年同四半期比2億36百万円(101.1%)増、四半期純利益2億84百万円で前年同四半期比1億45百万円(104.8%)増と増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 種苗事業

種苗事業においては、前期に発生した永年牧草地の更新需要が一巡したことによる牧草種子の売上減少があったものの、野菜種子の輸出でタマネギ・キャベツ、国内販売でタマネギ・ダイコンの売上が増加したことなどから、売上高31億12百万円で前年同四半期比微増収となりました。

#### 花き事業

花き事業においては、一般家庭の園芸用品に対する支出が減少していることや緑のカーテン需要の減退などの要因から、家庭園芸資材の販売が不振だったことにより、売上高35億24百万円で前年同四半期比5.6%の減収となりました。

#### 農材事業

農材事業は、売上高98億62百万円で前年同四半期比2.7%の減収となりました。ただし、連結子会社であった株式会社ベルデ九州を吸収合併したことに伴い、未連結であった同社の平成24年4月~5月の業績数字を連結したことに伴い、前期の売上高が嵩上げされたことを勘案すると、実質5%程度の増収であります。これは、害虫の発生増による殺虫剤の販売増や、値上り前の駆込み需要、得意先のニーズを捉えた営業活動でシェアアップに努めたことなどで農薬の販売が伸長したことによります。

## 施設材事業

施設材事業は、震災復興需要から被災地のイチゴ栽培農家向けに温室及び養液栽培プラントの完工売上高が大幅増となったほか、燃料価格高止まりを背景に、ハウス栽培に使用する省エネ型暖房機の需要が増加したことなどにより、売上高70億57百万円で前年同四半期比15.2%の増収となりました。

## **造園事業**

売上高1億34百万円で前年同四半期比28.5%の減収となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、311億2百万円となり、前連結会計年度末と比較して73億80百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金と商品の減少によるものであります。

また「負債の部」の残高は、177億29百万円となり、前連結会計年度末と比較して76億4百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

「純資産の部」の残高は、133億73百万円で前連結会計年度末と比較して微増となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して3億19百万円減少し、14億84百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、16億85百万円(前年同四半期比108.3%増)となりました。

これは主に、仕入債務の減少額93億52百万円が、売上債権の減少額69億72百万円及びたな卸資産の減少額5億97 百万円を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、96百万円(前年同四半期比19.6%減)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出94百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、14億62百万円(前年同四半期比3.5%増)となりました。

これは主に、営業活動により使用した資金を、短期借入金で調達したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績が前頁の状況で順調に推移したことや、下半期についても震災復興に伴う養液栽培プラントの完工などにより堅調な業績推移が見込め、また、消費税増税による駆け込み需要も予想されることから、平成25年7月11日の「平成25年5月期決算短信」で公表いたしました前回予想を、下表のとおり修正いたします。

平成26年5月期通期連結業績予想数値

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	54, 500	1,500	1,600	950	80.88
今回修正予想(B)	54, 500	1,650	1, 750	1,050	89. 39
増減額(B-A)		150	150	100	
増減率(%)	_	10.0	9. 4	10.5	_
(ご参考) 前期実績 (平成25年5月期)	54, 006	1, 383	1, 481	886	75. 45

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 該当事項はありません。

# 3. 四半期連結財務諸表 (1) 四半期連結貸借対照表

	前連結会計年度	(単位:千円) 当第2四半期連結会計期間
	(平成25年5月31日)	(平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2, 137, 657	1, 818, 103
受取手形及び売掛金	21, 320, 711	14, 389, 159
商品	5, 806, 893	5, 328, 374
その他	1, 515, 280	1, 771, 259
貸倒引当金	<u></u>	△50, 114
流動資産合計	30, 705, 425	23, 256, 782
固定資産		
有形固定資産		
土地	4, 144, 432	4, 175, 004
その他(純額)	1, 765, 035	1, 742, 262
有形固定資産合計	5, 909, 468	5, 917, 266
無形固定資産	91, 333	80, 061
投資その他の資産		
その他	1, 843, 218	1, 916, 287
貸倒引当金	△65, 986	△67, 640
投資その他の資産合計	1, 777, 231	1, 848, 646
固定資産合計	7, 778, 034	7, 845, 974
資産合計	38, 483, 460	31, 102, 757
負債の部	00, 100, 100	01, 102, 101
東領の市 流動負債		
支払手形及び買掛金	20, 601, 163	11, 656, 703
短期借入金	1, 935, 000	3, 545, 000
未払法人税等	334, 891	194, 378
その他	1, 070, 887	979, 117
流動負債合計	23, 941, 942	16, 375, 199
固定負債		10, 010, 100
退職給付引当金	1, 081, 219	1, 075, 318
役員退職慰労引当金 (2) (4) (4) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	215, 380	192, 980
その他	95, 393	86, 208
固定負債合計	1, 391, 993	1, 354, 506
負債合計	25, 333, 936	17, 729, 705
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 491, 267	1, 491, 267
資本剰余金	1, 765, 206	1, 765, 221
利益剰余金	9, 693, 935	9, 837, 260
自己株式	△14, 462	$\triangle 16,432$
株主資本合計	12, 935, 946	13, 077, 317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213, 577	295, 734
その他の包括利益累計額合計	213, 577	295, 734
純資産合計	13, 149, 523	13, 373, 051
負債純資産合計	38, 483, 460	31, 102, 757

# (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書) (第2四半期連結累計期間)

(对2日)列廷帕尔印列间/		(単位:千円)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
売上高	23, 280, 670	23, 692, 238
売上原価	19, 651, 832	19, 998, 008
売上総利益	3, 628, 837	3, 694, 229
販売費及び一般管理費	3, 429, 507	3, 276, 256
営業利益	199, 329	417, 972
営業外収益		
受取配当金	20, 945	22, 752
受取家賃	29, 523	30, 546
その他	7, 207	14, 153
営業外収益合計	57, 676	67, 452
営業外費用		
支払利息	17, 400	14, 709
為替差損	5, 056	_
その他		389
営業外費用合計	23, 174	15, 098
経常利益	233, 831	470, 326
特別損失		
投資有価証券売却損	1, 377	_
固定資産処分損	2, 089	122
特別損失合計	3, 466	122
税金等調整前四半期純利益	230, 365	470, 204
法人税等	91, 525	185, 900
四半期純利益	138, 839	284, 304

# (四半期連結包括利益計算書) (第2四半期連結累計期間)

(M 2 CT   MAZARINET MIRI		(単位:千円)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
四半期純利益	138, 839	284, 304
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58, 299	82, 157
その他の包括利益合計	58, 299	82, 157
四半期包括利益	197, 138	366, 461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	197, 138	366, 461

# (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

		(単位:千円)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	230, 365	470, 204
減価償却費	101, 997	95, 622
売上債権の増減額(△は増加)	8, 186, 628	6, 972, 989
たな卸資産の増減額(△は増加)	480, 678	597, 954
仕入債務の増減額(△は減少)	$\triangle 9, 451, 190$	$\triangle 9, 352, 454$
その他	<u></u>	$\triangle 177,648$
小計	△526, 886	△1, 393, 331
法人税等の支払額	△283, 955	△298, 353
その他	1, 757	6, 393
営業活動によるキャッシュ・フロー	△809, 085	△1, 685, 292
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△113, 695	△94, 198
投資有価証券の売却による収入	7, 238	_
その他	△13, 681	△2, 445
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120, 138	△96, 644
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1, 560, 000	1,610,000
配当金の支払額	△140, 361	△139, 845
その他	△6, 030	△7, 772
財務活動によるキャッシュ・フロー	1, 413, 607	1, 462, 382
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	484, 383	△319, 553
現金及び現金同等物の期首残高	1, 914, 043	1, 804, 157
現金及び現金同等物の四半期末残高	2, 398, 427	1, 484, 603

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	造園 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	3, 089, 565	3, 735, 834	10, 139, 084	6, 127, 584	188, 603	23, 280, 670
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11, 400	20	867	4, 133		16, 420
<b>=</b>	3, 100, 965	3, 735, 854	10, 139, 951	6, 131, 717	188, 603	23, 297, 090
セグメント利益又は損失(△)	409, 146	△61, 999	28, 159	201, 107	1, 716	578, 129

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額		
報告セグメント計	578, 129		
全社費用 (注)	△378, 800		
四半期連結損益計算書の営業利益	199, 329		

- (注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
- Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	造園 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	3, 112, 411	3, 524, 820	9, 862, 420	7, 057, 699	134, 888	23, 692, 238
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9, 682	_	675	2, 495	_	12, 852
計	3, 122, 093	3, 524, 820	9, 863, 095	7, 060, 194	134, 888	23, 705, 090
セグメント利益又は損失(△)	376, 519	△72, 947	108, 145	381, 090	△6, 233	786, 574

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

	(114)		
利益	金額		
報告セグメント計	786, 574		
全社費用 (注)	△368, 602		
四半期連結損益計算書の営業利益	417, 972		

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。